

# 地区広報 芸術の森

第25号

平成25年3月30日

発行 地区広報・芸術の森  
編集委員会

印刷 (株) 辻孔版社

題字 平澤 博



## 雪あかりの祭典は地区の8会場で定着

### ▼雪あかりの祭典は楽しく、美味しく、美しく

本祭典は、平成18年南老人福祉センターと見晴町内会が協力してイルミネーション点灯とアイスキャンドル点灯を行なったのがきっかけで、イルミネーションを中心に地区内に浸透していきました。

祭典も年を経るにつれ様変わりをし、近年はイルミネーションやアイスキャンドルの点灯による美的追求と寒さ対策としてホットドリンクや豚汁の提供、加えてイベントも数多く行われ、気軽にコンサートなども聞くことができる楽しい雰囲気の場となっていました。

全市より来客の多いのは、イベントの多い札幌芸術の森、札幌市立大学および保養センター駒岡ですが、

芸術の森地区連合会 会長 関 口 明

南老人福祉センターも他地区連合会の見学の場として来られる方もおり、他の会場も合せると約3、100名の来場者となりました。今後とも見てよし住んでよしのまちづくりを目指して頑張って参りましょう。

### ▼芸術の森地区芸能祭りは盛会で楽しく終えました。

芸術の森地区文化祭が会場を札幌芸術の森工芸館で開催となったのを契機として、常盤団地町内会で行っていた催しを、第14回より地区会館で開催しました。会場はお子さんから高齢者まで大勢の方が来られ、合唱や踊り、大正琴などを聴きながら楽しい一日でした。

札幌芸術の森の裾野を広げるために今後も続けて行きたいものと願っています。



## 地区の福祉向上をめざして

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 堀川 昭八

十数年ぶりの大雪といわれたこの地にも、そこここに‘雪えくぼ’が目につく今日この頃となりましたが、皆様にはお変わりなくお過しのことと拝察し、お慶びを申し上げます。

私たち芸術の森地区社会福祉協議会の24年度事業も連合会内皆様方はもちろん関係諸団体のご理解ご協力をいただき、大過なく終了することができましたこと、心からお礼を申し上げます。

私たちの福祉活動は、積極的な対処を考えれば‘親切という名のお節介’となり、「そっとしておく思い遣り’そして‘何気なく気にかける’ことが求められるといった、当方の意志がそのまま伝わりにくい面もあり、この後も皆様方の暖かいご理解にまつことが多かろうと思っております。

皆様、既にご存知のとおり、高齢化率の上昇に伴い認知症高齢者や単身世帯が増加し、孤立死・孤独死が報道されるなど、私たちを取り巻く生活環境が変化していることから、市・区社会福祉協議会（地区社会福祉協議会・同福祉のまち推進センター）は、昨年9月に採択した地域福祉市民フォーラム宣言の中に、各月3日を‘見守り 訪問の日’と定め、更にこの度関係団体が一体となって、190万人市民が‘見守り 訪問活動’を意識すると共に、見守りサポーターのマスク・キャラクターを‘まもりん’として、広報誌・封筒などに標示し、同活動の啓発に取り組むこととなりました。

具体的な活動内容等については、これからお示ししていくこととなります、ご協力くださいますようお願いいたします。



## 青少年育成委員会活動への協力に感謝

芸術の森地区育成委員会 会長 前 口 敦 司

した。また地域の皆様方には道具をお借りしたり具材の差し入れやお手伝いなど本当にありがとうございました。

○1／12（藤野スキー場） 小学生スキー教室では天候もよく28名の子供達が元気にスキーの楽しさを満喫していました。最後はリフトに乗れなかった参加者もほぼ全員乗り自信をつけてスキー場をあとにしました。

その他、対外活動として北海道青少年育成大会・育成運動活性化研究会・児童会館20周年式典・森の仲間三世代交流会・南区育成全体研修会・芸術の森音楽祭・成人式など委員全員が育成活動に積極的に参加させて頂きました。私たち委員は地域の方々と連携し、子供達を取り巻く環境に気を配りながら啓発活動や心の豊かさを育てていく活動をしていくことを目指しています。25年度は委員任期最後の年となります。少しでも我々の気持ちが伝わるよう努力します。また25年度末には新委員の選出も控えています。我々の活動に興味のある方、或いは子供達と一緒に活動してみたい方は是非ご一報下さい。25年度もがんばります！！

余寒厳しき折、地域の皆様方には  
ますますご清栄のこととお慶び申し  
上げます。

さて、24年度も無事に一年間の活動を終了できました。地域の皆様方には日頃育成委員会の活動にご理解とご協力頂いたたまものと厚くお礼申し上げます。ここで24年度の活動報告をさせて頂きます。

- 7／21 サマーレクリエーション（藤野野外スポーツ交流施設にて屋外でのふれ合い活動）
- 8／11～15 盆踊り会場パトロール。
- 9～11月 「青少年を見守る店」を訪問し子ども達の様子を聞き取り調査。
- 11／18 南区少年少女親善スポーツ大会（南区体育館にてドッジボール大会。高学年の部で常盤Y E／A準優勝、低学年の部で石山東パンサーズ優勝）では過去最多の7チームの出場でした。選手たちの真剣な眼差しとすばらしいプレーに感動しました。
- 12／9 交流もちつき大会（常盤児童会館）では150人ほどの動員でしたが今回は育成委員のエレクトーン演奏のサプライズもあり大盛況のうちに終了しま

### ●防犯防災部から●

## 防犯防災部からのお知らせ

防犯防災部長 山 本 悟

なお、作業に合わせて新規の一時避難場所、収容避難場所についても区に要請し指定を受けることが出来ました。（詳しくは4月中旬以降配布するマップ参照）

### 2. 冬用「安全安心帽」の作製

現在、黄緑色の安全安心帽を配布していますが、メッシュタイプのため冬仕様のものが欲しいとの要望を受けて検討しました。しかし、どのメーカーも黄緑色は製造しておらず止むを得ず黄色（デイジー）を採用しました。今後も配布数を増やす考えであり、夏冬異なる色となります。それぞれ地域に親しんで頂ければと思っています。

### 1. 「安心・安全マップ」の作製

札幌市では、「地域防災向上事業」の一環として防災マップの作製支援等を行なっています。芸術の森地区は、山や河川等自然地形の中で街が形成され、自然災害への備えが重要な地域であることから、事業に伴う助成金を受け地区内の「安心・安全マップ」を作製すべく検討チームを立ち上げ、全戸配布を目指して作業を進めています。概要は大きさA1版の地図上（縮尺1／6500）に、避難場所・AED設置箇所・防災資機材保管箇所等を表示し、合わせて緊急時の連絡先等必要な情報を掲載する事としています。

### —くつろぎの宿— 駒岡

宿泊、休憩、入浴、パークゴルフ  
レストランなど低料金でご利用  
いただけます。お気軽にお越しください。



※無料送迎バスあり  
札幌市内1ヶ所のみ  
(10名様以上・要予約)

巻人クラブ様限定プラン	
・日帰り	2,000円～
・宿泊	5,000円～
※10名様以上より承ります。	

春彩プラン 3月～5月	
1泊2食	¥6,500～(暖房料別途)
※2名様以上	無料送迎付
(札幌市内1ヶ所、要予約)	

入浴料金	
・60才以上	300円～
・小学生	
・中学生以上	
・60才未満	400円～

TEL 011-583-8553  
FAX 011-583-8574  
札幌市南区真駒内600番地20  
指定管理者 札幌市福祉事業団

保養センター駒岡 検索

## ●交通安全部から●

当連合会の交通安全指導員は、地域内の常盤・石山東・駒岡の3小学校の児童が安心して通学できるように、学校周辺の危険度が高い通学路を中心に、交通指導するとともに、児童をめぐる凶悪犯罪防止にも注意して活動していただいております。

寒い日・暑い日もあり、継続して行なうのはなかなか大変ですが、明るい元気な児童の笑顔にはげまされ活動いただいております。

地域の皆様も活動中の指導員を見かけましたら、「お疲れさまです」の一聲をお願いいたします。



後列左から出口一さん、大滝盛弘さん、藤田二三雄さん、  
前列左から竹村智子さん、川口興磨さん、小澤敦子さん

交通安全部長 金子 侑

平成25年4月1日から二年間の任期で、常盤小学校区では大滝盛弘さん・藤田二三雄さん・竹村智子さんの3名、石山東小学校区では川口興磨さん・小澤敦子さんの2名、駒岡小学校区では出口一さんの1名が委嘱されることとなりましたので、紙面をお借りしてご紹介いたします。

### 自転車ライダーのきまり

自転車安全利用5則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

出かける前に  
チェックしようぜ！

駐輪マナーを守りましょう！  
自転車は駐輪場にとめましょう。

## 自転車ルールQ&A

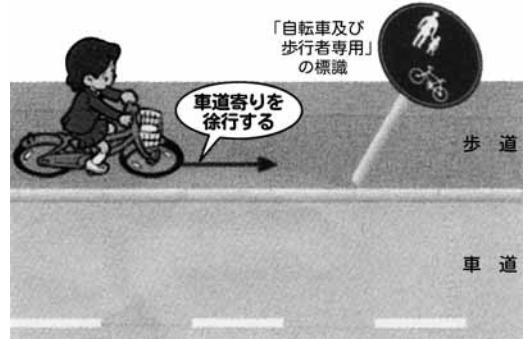
Q 常盤方面から地下鉄真駒内駅へはどの歩道が走れるの・・・？

A 国道（R453）を走る場合は、真駒内へ向かって左側歩道（芸森会館、石山緑地側）が自転車通行可となっています。

Q 歩道走行時の注意点は・・・？

A 歩道は「歩行者最優先」、自転車は車道寄りを歩行者へ危険が及ばないように徐行して走ります。また、通行を妨げそうな場合は、一時停止しなければなりません。

(文責 川口指導員)



無料

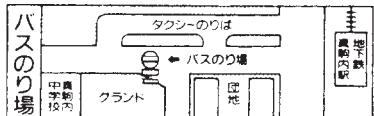
## 見学・墓参バス運行中

永久に生きる花と緑の明るい聖地

**真駒内滝野霊園**

札幌市許認可霊園

時間 午前 10:00  
午後 12:00  
午後 2:00



お問合せ・  
お申込みは

**真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223** (代表)

## 「雪あかりの祭典」は、次の日程で行われました。

1月26日：・札幌芸術の森 ・関口雄揮記念美術館  
・常盤児童会館

1月31日、2月1日：駒岡小学校(スノーフェスティバル)

2月2日：札幌市立大学（ARTOU）

2月2、3日：南老人福祉センター&石山緑地地区  
(雪あかりの祭典・スノーフェスタ)

2月3日：芸術の森地区会館&常盤1号橋

2月10、11日：札幌市保養センター駒岡  
(こまおか冬まつり)

## 札幌芸術の森

広い園内を利用して多くのイベントを行いました。アートホールでは、「もちつき大会」「芸森アートマーケット」「自分だけの楽器カリンバをつくろう」「ふらっと版画体験」などを行いました。「もちつき大会」は町内の方々の協力で、きな粉、あべかわ、お汁粉が作られ450枚用意された整理券がなくなりました。



券がなくなりました。野外美術館には、ながーいすべり台がお子さんたちで賑わっていました。当日訪れた人は1,700名程度でした。

## 関口雄揮記念美術館

日没よりアーティストmegのキャンドル装飾に点灯し、カフェでココアを頂きながらジャズ演奏を楽しみました。



## 芸術の森地区

# 雪あかり

今年の「芸術の森地区 雪あかりの祭典」は、2月雨に降られましたが、全体としてはましま

## 常盤児童会館

15時より手作りキャンドルを行いました。この中には水に浮くキャンドルづくりもあり、子供さんも楽



しんでいました。日没より点灯式と花火大会を行いました。



## 駒岡小学校

午前中は歩くスキーで汗をかきました。スロープは新雪でみんな苦労していました。午後からは開会式を行い、「みずなら班」で作った雪像発表会。夕方には



児童がつくったカレーライスで夕飯。18:30から「もちつき大会」。これには1年生から6年生全員が杵を振りました。餅を頂いた後はアイスキャン



# 雪の祭典

2日が夜半から午前中にかけて  
ずの天気で終わることができました。

総務部長 島田三千春

## 札幌市立大学

今年は「市民や子供たちの芸術体験のはじまり」をテーマに準備をしました。エントランス、アリーナ、シアター、グラウンドを使い、いろいろな催しを行いました。アリーナでは地域のサークルの発表、児童会館の子供たちの発表、そして大学のサークルの演舞と盛り沢山の催しを行いました。さすが若人のエネルギーは違うと感じられた時間でした。エントランスでは17:30過ぎに



瀬川南区長を迎えて点灯式を行い、ファッショショウなどを、また、来場された方に豚汁、ココアを振る舞っていました。

グラウンドではアイスキャンドル、雪のスクリーンへの映写、花火が打ち上げられました。

## 南老人福祉センター＆見晴町内会

今年は8回目を迎え、昨年よりもと、多くの人がキャンドル作り、雪像作り、滑り台作りに奮闘しました。しかし、当日は夜半からの雨そして風が強く、キャン



ドルの灯も吹き消されてしまい、残念でした。寒い所に来て下さった人に、豚汁、甘酒を用意して楽しんで頂こうとの心遣いに来年も楽しみにしたいと思いました。翌日は、吹雪模様でしたが、子供を対象にしたスノーフェスタを行い、子供達はすべり台などで大いに楽しんでいました。



## 芸術の森地区会館＆常盤1号橋

昨年から始めたこの催しも、何とか軌道に乗せるよう企画に熟慮して、ボランティアさんの協力で、森の朝市の夕市を開催して、



「キャンドルの灯り」「アンデス音楽」「地域の農産物と手作り品直売」など一緒に楽しめました。



## 札幌市保養センター駒岡

今年で5回目を迎えました。今回は2日間にわたって行い、初日は「駒岡ミュージックスノーフェスタ2013」と銘打って、アマチュアバンド6組の演奏会を行い、たくさんの方が聞いていました。翌日は、屋内パークゴルフ場に、もりの仲間の朝市11店舗が出店。

「雪あかりコンサート」では、札幌光星高校吹奏楽部の演奏、保養センター駒岡の講座生によるカラオケ、フラダンス、合唱などを行い、多くの人が楽しんでいました。また、



じゃんけん大会、屋外では雪だるマンコンテスト、アイスキャンドル点灯。そして、豚汁、コーンスープの提供もあり楽しい1日を過ごしました。なお、来場者は610名余りでした。

## 講演会「介護保険の上手な使い方」 ～介護保険の改正で何が変わったか～

去る11月20日芸術の森地区会館において、「介護保険の上手な使い方」と題して芸術の森地区社会福祉協議会・芸術の森福祉のまち推進センター主催による講演会を実施しました。長年この分野で活躍された奥田龍人さんを講師に招きました。お話の中で強調された幾つかを取り上げてみたいと思います。

### 1. 介護保険法制定の背景

戦後のベビーブームに誕生した人たちが前期高齢者（65歳から74歳）に到達し、2025年（平成37年）には、高齢者人口はピークを迎える（約3500万人）。高齢者の急激な増加で財政負担が対応しきれなくなったことで、医療保険から高齢者の要支援者・要介護者を対象にした介護保険が導入された。

施工後5年を経た2005年（平成17年）には高齢者の自立支援を高めつつ居宅介護支援を中心に制度の持続性を高めつつ介護予防の推進、認知症ケアの推進、地域ケアの展開という新たな課題に取り組むため制度が改正された（24時間体制による居宅介護支援が進められるようになった）。

### 2. 介護保険の被保険者は、「第1号保険者（65歳以上の人）と第2号保険者（40から64歳で健康保険に加入している人）」の2つに分けられます。要支援・要介護が必要になったら、相談しましょう。どこに相談すればよいか。

- ① 要介護状態になったら、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの介護支援専門員（ケア・マネジャー）に相談しましょう。詳しく教えてくれますし、申請の手続きもしてくれます。
- ② 主治医を決めておく必要があります。役所が主治医に意見書を書いてもらうため。主治医がない場合は、地域包括支援センターなどに相談しましょう。



### 奥田達人講師略歴

- 1952年 札幌市で出生。札幌西高卒
- 1976年 同志社大法学部卒
- 1977年 道立肢体不自由者訓練センター勤務
- 1985年 道内で10番目位となる障害者作業所「自立屋」を傷害を持つ友人と立ち上げ
- 1988年 北海道中央児童相談所勤務
- 1991年 北海道札幌肢体不自由児総合療養センター（現「こどもっくる」）システムづくり
- 1996年 道を退職。医療法人済仁会にてケアマネージャーなど歴任
- 2012年 NPO法人シーズネット副理事長

（文責・芸術の森地区社会福祉協議会常任理事 馬場 宏）

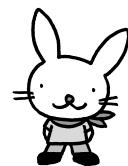
<b>入所サービス ショートステイ</b>  	<b>みんなの想いにおこたえいたします</b>  <b>医療法人 愛全会 介護老人保健施設 アートヒルズ</b> 〒005-0849 札幌市南区石山837-47  <b>0120-348-365</b>	<b>通所リハビリテーション 介護予防通所リハビリ</b>  
-----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------



# もりの仲間の子育てサロン

子育て支援部長 三上 良子

親子の元気な笑い声が響きます。人生の先輩達の優しいまなざしが子供達に注がれます。平成17年に開設して今年で9年目となります。平成25年度の開催日が決まりました。0歳から就学前のお子様とパパ・ママ！是非おいで下さい。おもちゃ・本、充実しています。開催場所、芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）。写真はサロン風景



開催日（原則毎月第1・第3水曜日10:00～11:30）

4月3・17／5月8・15／ 6月5・19／ 7月3・17／  
8月7・21／9月4・18／10月2・16／11月6・20／  
12月4・18／1月8・15／ 2月5・19／ 3月5・19／

## たいへん参考になりました

高齢者支援部長 目次 敬紀

去る2月26日㈫、久々の好天に恵まれ、近隣福祉施設の見学会を実施しました。

「社会福祉法人 北志会 らいらっく」（以下らいらっくという）と「介護老人保健施設グラーネ北の沢」（以下グラーネという）の2施設です。

らいらっくは平成19年10月に開所、グラーネは社会医療法人北海道循環器病院を運営母体に運営し、非常に立派な施設・設備に加え、介護・ケアの内容が充実しスタッフも十分に配置され、密度の濃い個別ケアを充実させていると思いました。両施設とも体験利用（無料）を隨時受付中とのこ

とでした。

本社会福祉協議会の訪問に合わせて事前に準備され、レクチャー用資料の準備や、各班に分かれて説明担当者がついて行われるなど、各施設の配慮がいきわたっていました。

参加者はモチベーションが高く、質問も多く出されました。施設のスタッフもそれに誘発され熱が入り、時間をオーバーすることが度々ありました。

今回の研修見学会は大変参考になったと参加者に好評でした。参加者数35名。



## 交流もちつき大会 青少年育成委員会

昨年12月9日(日)、常盤児童会館において、交流もちつき大会を行いました。

子供たちは、餅つき体験で良い経験をし、また美味しいお餅をお雑煮、お汁粉、黄な粉、納豆、おろし大根など好きな食べ方を選び、お代わりをしながら美味しそうに食べていました。

今年は、育成委員によるエレクトーン演奏や、ボランティアで高校生3名のお手伝いなどもありました。子供スタッフ、地域の皆さんのお手伝いもあり、本当にありがとうございました。来年もまた開催致しますが、若い方のお手伝いを募集しておりますので、奮ってご参加ください。



## Fu'sで「初心者スキー教室」開催

青少年育成委員会

1月12日、藤野のFu'sスキー場において、小学生を対象とした「初心者スキー教室」を開催しました。今年は28名の参加で、天候にも恵まれスキー場の指導員の指導もあってメキメキと上達し、最後はリフトに乗って降りられるほどに上達しました。また、昼食はカレーライスで、わいわいと交流の輪を広げるなど、楽しい1日でした。



## 第6回パークリング大会

外は猛吹雪でも 中は熱気であふれています!!

芸術の森東地区スポーツ振興会

去る2月24日(日)石山東小学校体育館において、100名の参加で楽しく競技が行われました。

大人(中学生以上)は6レーンのコースで81名の参加、各コース4チームのリーグ戦が行われ、優勝は駒岡Aチーム(島田三千春さん・増井良年さん・増井美智子さん)でした。子供の部は18名の参加で個人戦を行い、石山東小学校山内茉莉さん(3年)が優勝しました。

外は吹雪でしたが、体育館は皆さんの一球打つたびの歓声で盛り上がり、楽しい大会になりました。(文責 佐藤)



# 福祉を支える人

天野 早苗 (あまのさなえ)さん



## プロフィール

1940年 6月	北見市で出生
1965年	札幌市 (移住)
1977年	常盤団地町内会居住、現在に至る
2001年	福祉除雪開始
2011年	常盤団地町内会福祉推進委員会 日常支援部長

### ・いつ頃から、お住まいになりましたか？

「常盤団地に住み始め35年になりますが、農家の雰囲気が色濃く残っていた当時とは、様変わりした石山陸橋から滝野峠まで続く、家屋は時代の変遷を思われます。」との感想。

町内では、愛妻家と愛犬家（パグ）で、旅行好きな、気さくな人柄が評判の方です。

### ・ボランティア活動の動機について

「永い間、スキーを趣味にしてきましたが、平成3年に、滑降中に追突され、両膝の大けがで、2か月間松葉づえ生活後、スキーなど生涯ダメとの診断を覆し、4年後、奇跡的に復帰を出来たことを、契機に、何か人々のお役に立つことがないか、考えておりましたが、いつも見かける目の不自由な方の力となるため、盲導犬協会の永久会員となり、いろいろなイベントなどに奔走したことが思い出の一つです。

### ・今までの活動状況について

「こちらへ住み、まだ、ボランティアが進んでな

い頃から、高齢者宅の除雪、庭木の枝きり、ゴミ出しなどをしています。また、平成13年頃から始まった「福祉除雪」の「除雪協力員」として、現在も継続して活動をしておりますが、最近の特徴として、家庭の電球等取替え、ゴミ出し、車両のことなどの依頼も多く、また、今年の豪雪による福祉除雪は、体力の限界を感じます」とのことでした。・ボランティアを通じて感じたこと、今後について

「今後、高齢者、体調の優れない人など誰でも支援を受け易い町内にするため、智恵を出し合い、若い人たちの参加を呼び掛けて、お互い協力し、助け合う体制作りを整備することが、ますます大切なこと」と「近隣の住人とは、まず、挨拶を交わし、気持ちの良い人間関係の構築が大切です」と力強く述べておられました。

・天野さんは、町内でも特に、「常盤団地福祉推進委員会」の日常支援部長として、見守り、除雪など地域活動のリーダーシップを発揮されている模範的な方です。

## 不法投棄回収活動

### 環境衛生部

クリーンさっぽろ衛生推進協議会芸術の森地区委員会では、平成18年度から不法投棄の監視・回収活動を行っていますが、今年度は9月～11月にかけて不法投棄防止施策（2回）の実施及び同回収活動（2回）を行いました。

- ・9月から10月（2回） 不法投棄防止及びヒグマの見守り施策（設置）
- ・11月3日(土) 石山2号線：かっこうを語る会、20名による不法投棄回収活動
- ・11月12日(月) 滝野・真駒内線、石山西岡南線：監視員等7名による不法投棄回収活動  
テレビ、レンジ、冷蔵庫等の家電製品、タイヤ、応接ソファーほか

なお、防止・見守り施策の設置により、不法投棄は極端に減少していることは確かですが、“目の届かない所”への投棄は未だに続いており、町内会等単位での折にふれた監視（回収）活動は今後ともつづけていただくよう、ご協力をお願いいたします。



## 真駒内川改修工事進捗状況について

真駒内川を考える会 会長 関 口 明

真駒内川改修工事は、平成23年9月4～6日の大雨で斜路工及び河床が一部けずられ資材等が流され、補修工事について、平成24年7月25日の説明会では平成24年度は予算を見ながら斜路工No.2～8の改修工事に入る事の説明を受けました。

続いて9月10日、斜路工No.4及び5

(藻南学園橋付近)

続いて10月10日、斜路工No.6及び8

続いて11月20日、斜路工No.2及び3の説明を受けました。

その後

1. 工期 平成24年12月21日～平成25年3月21日
2. 工事区間 斜路工No.7 第4工区
3. 請負業者 小島総合建設株式会社
4. 工事内容 補強工事（練石張り、モルタル充填）での補修申し出がありました。

これで大雨の補修工事は平成24年度で終了致しますが、平成25年度は常盤一号橋迄の残り140m及び管理道路にかかる予定です。

その他専門家4氏による河床対策検討会も25年度2回、26年度2回開催予定で検討結果を今後の説明会にて報告される予定です。

札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）並びに工事業者には、安全の確保と土砂排出路の除雪・砂埃等の衛生面に尚一層の気配りをお願い致しますので、工事該当地区の皆様には歩行、自転車利用や駐車等にご注意頂くと共に、今後共工事へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



## ～おめでとう～

### ○札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰

<受賞者>

見晴町内会

川口 興磨 氏

常盤団地町内会

藤田二三雄 氏

### ○南区クリーンさっぽろボランティア実践者表彰

<受賞者>

(24年11月30日)

サンブライト真駒内町内会 稲村タケ子 様

石山東町内会

牧野 正巳 様

### 芸術の森地区連合会主要構成団体総会日程

構成団体	総会日(予定)
交通安全運動推進委員会	4月11日(木)
青少年育成委員会	4月13日(土)
女性部・交通安全母の会	4月18日(木)
芸術の森地区連合会	4月20日(土)
南区老人クラブ連合会第7ブロック	4月23日(火)
芸森地区社会福祉協議会	5月11日(土)
常盤体育振興会	5月18日(土)
芸森地区東スポーツ振興会	5月18日(土)
クリーンさっぽろ衛生推進委員会	5月20日(月)

## 編集後記

第46回総選挙を終え3ヶ月半、新たな年を迎えても早3ヶ月が過ぎました。ここで改めて新年のご挨拶を申し上げます。

私たちの「広報芸術の森」も創刊から10年目を目の前にし、その創刊時に誓い合った「チームワークと頑張り」は、お陰様で未だ衰えず、益々の活躍を期しているところです。

平成25年、第25号の発刊にあたり、会員皆様方の心身両面のご健勝を祈念し、変わらぬご協力、ご投稿をお願い申し上げます。

「広報芸術の森」編集委員一同

### 広報「芸術の森」編集委員会

委員長 堀川 昭八

委員(監査) 馬場 宏

副委員長 三上 良子

委員 島田三千春

委員(会計) 佐藤 宗昭

委員 火山 正己